

みちのくアライアンス構築による海上コンテナ輸送効率化計画

対面交流会による相互理解とLINEによる具体策企画・実施



NPO法人エスコット
〒277-0011 千葉県柏市東上町4-17
連絡先: 080-4365-0861
<https://www.npo-escot.org>
ser.Kashiwa@gmail.com

東北の課題

- * 京浜港までの距離
- * 空コンテナの過不足でCRU率低下
- * 2024年問題と気候変動対策
- * 農産物関連運賃収入の限界

例：秋田港⇒京浜港



- * 距離：片道627km 往復1254km
- * 往復の所要時間：15時間20分
(往復有料道路使用休憩なし)
- * CO2排出量：約1.3トン/コンテナ
- * 運賃：？

課題解決提案

- * 周辺同業他社との空コンテナ交流
- * 中継輸送による長時間労働対策
- * GX推進＝内貨輸送、梱包材再利用
- * 異業種参入＝生産業参入

みちのくネット構成メンバー

能城運輸(株)、秋田県能代市
日本貨物鉄道(株)、岩手県盛岡市
ヤマラク運輸(株)、山形県西置賜郡白鷹町
青バラ運輸有限会社、宮城県石巻市
(株)丸山運送、宮城県仙台市
大竹運送(株)、福島県白河市
郡山トラックセンター事業協同組合、福島県郡山市

支援、アドバイザー

NPOエスコット:事務局

Nihon Technology Private Limited:IT、AI関連アドバイザー

みなと総合研究財団:アドバイザー

段取り

情報・意見交換会の定期開催

企画・立案の実施状況報告

改善・改良に向けた修正会議開催

行動計画

7月18日、仙台にて対面交流

コンテナ交換型ラウンドユース実施

改善・改良情報・意見交換

* ラインによるビジネス交流

情報

海運業界はCRUを無視できない。

1. CO2排出量実質ゼロにはオフセット手段が必要
2. 削減量の数値化が必要
3. 地方港、内航船利用サービス検討
4. 海運+鉄道の新サービス検討
5. 株価・株主・EU規制対策



アンモニアを燃料として、開発が進む船のイメージ=商船三井提供



国際海運、50年ごろ「排出ゼロ」 IMO新目標、船の燃料も転換へ



アンモニアを燃料として、開発が進む船のイメージ=日本郵船提供



情報

有事のマニュアル対応検討

1. ラインのCB無線的活用
2. 対面による信頼関係が必要
3. 輸送ルート複数化(バックアップ)検証



飛鳥埠頭(ふとう)に並ぶコンテナ=2023年7月5日午後2時6分、愛知県飛鳥村、良永うめか撮影

サイバー攻撃から復旧の名古屋港 2日ぶりにコンテナ積み下ろし再開

港湾サイバー攻撃 物流直撃

名古屋 3日にわたり搬出入停止

日本を揺るがすサイバー攻撃の名古屋港では3日にわたり、コンテナの搬出が停止した。原因はサイバー攻撃とみられる。被害は日本初という。被害ははるかに広がる恐れがある。被害は日本初という。被害ははるかに広がる恐れがある。被害は日本初という。被害ははるかに広がる恐れがある。

トヨタの工場一時ストップ

名古屋港のサイバー攻撃を受け、トヨタの工場も一時ストップした。原因はサイバー攻撃とみられる。被害は日本初という。被害ははるかに広がる恐れがある。被害は日本初という。被害ははるかに広がる恐れがある。

重要インフラ 港湾は含まれず

サイバー攻撃の被害を受けた名古屋港は、重要インフラには含まれていない。サイバー攻撃の被害を受けた名古屋港は、重要インフラには含まれていない。サイバー攻撃の被害を受けた名古屋港は、重要インフラには含まれていない。

名古屋港のサイバー攻撃を受け、物流が直撃を受けた。搬出入が3日にわたり停止した。トヨタの工場も一時ストップした。重要インフラには含まれていない。